

平成23年度

農山漁村再生可能エネルギー導入可能性調査支援事業  
評価報告書

# 神奈川県

<平成26年度報告>

(別添)

事業評価報告書

1. 調査結果を活用した再生可能エネルギー電気を供給する取組の概要

取組主体	取組概要
コンクリート製造工場	神奈川西部地域において、コンクリート工場の敷地内におけるバイオマス発電の簡易経済性試算を行った。 しかし、当該工場においては建設需要の盛り上がりでコンクリートの需要が増し、増産する必要が生じている。このことから、少なくとも今後5年以上はコンクリート工場として使い続けるという結論になり、バイオマス発電事業の構想を中止している。
農業関連施設の屋根における太陽光発電事業	農業関連団体が所有する、横浜市内の農業関連施設(2か所：85kW及び35kW)の屋根を利用した太陽光発電について、経済性の検討を行った。 しかし、費用対効果、及び設置躯体の耐用年数の課題から、太陽光発電パネルの設置には至っていない。

2. 評価

現在、神奈川県における農村漁村の再生可能エネルギーの取り組みは検討段階であり、実施するまでに至っていない。本事業の目標である平成27年度末で神奈川県下における再生可能エネルギー電気を供給する取り組みが3箇所以上行われることについては、引き続き、取り組み主体および市町村に情報提供を行うことで目標を達成することを目指す。

(注) 1. の取組に関して参考となる資料がある場合には、その資料を添付すること。